

# 集落支援だより Vol.2



皆さんこんにちは！地域おこし協力隊、集落支援担当の渡辺です。

今回の集落支援だよりでは、昨年11月30日・12月1日に奥川地区で行われた「人足イベント」の様子をお届けします。



地域おこし協力隊 集落支援担当  
1年目 渡辺 貴洋

## ◆人足イベントとは

「人足イベント」とは、集落内での共同作業、いわゆる「人足」を大学生などが集落の皆さんと一緒に作業し、交流を図り、集落機能の維持につなげることを目的としています。

学生にとっては、中山間地域の集落の実態を実際に体験をしながら学べる貴重な機会であり、集落の皆さんにとっては人足の負担軽減や若い人との交流ができる機会となっています。

## ◆人足イベントを実施

昨年11月30日・12月1日、奥川地区の中町集落と梨平集落で人足イベントを実施しました。今回は、福島大学岩崎ゼミの学生6人と会津大学の学生12人

の計18人が参加しました。会津大学からの参加者のうち8人が留学生で、国際交流も兼ねた人足となりました。このうち、会津大学生は、昨年11月に奥川・中町に完成した集落支援拠点施設に宿泊しました。学生らはイベント中、留学生と日本語の勉強をするなど、今回も学生にとって実りある学びにつながったように思いました。

## ◆集落の皆さんの感想

集落の皆さんからは、「学生が来たことで作業をだいぶ早く終わることができた」、「学生が手伝いに来てくれて非常に助かる」、「学生は自分にとって孫みたいなもので、話す元気になる」、「また体験に来てほしい」などの感想が寄せられました。そして何よりも、集落の皆さんは大学生が来るのを楽しみにしていることが伝わってきました。

## ◆学生の皆さんの感想

一方、学生からは、「集落の皆さんや他大学の学生や留学生との交流は新鮮で楽しかった。」



集落の皆さんと一緒に人足を体験

た、「普段経験できないことが西会津でできた」、「作業を終えたときに達成感があった」、「また参加したい」、また、留学生からも、「新しいことを体験できてとても楽しかった」、「日本の文化や生活を知ることができた」、「国籍が違う人と交流できて楽しかった」、「大変な作業を一緒に手伝うことができて嬉しかったです。」などの感想が寄せられました。

これらの感想から、現地の人たちの交流を楽しみにして来ることや、やったことのない体験にチャレンジしたいという学生が多いことがわかりました。

また、学生にとっては学生同士の交流の機会が少ない中で、こうした場が学生同士はもとより、年代や価値観が違う人と関われる場になればと思います。

## ◆今後のイベントについて

今後も継続的に人足イベントを開催していきます。今回の活動については、町ケーブルテレビでの放送のほか、福島民友新聞にも記事が掲載されました。今後もメディアに取り上げていただくことで、こうした取り組みの情報を皆さんに伝えていければと思っていますので、ぜひチェックしてみてください。

今後もイベントが集落と学生の双方にとって良い機会になっていけばと思います。ぜひ学生を受け入れてみたい、興味があるという集落がありましたら、役場奥川支所までご連絡ください！



集落支援拠点施設で交流を深める学生